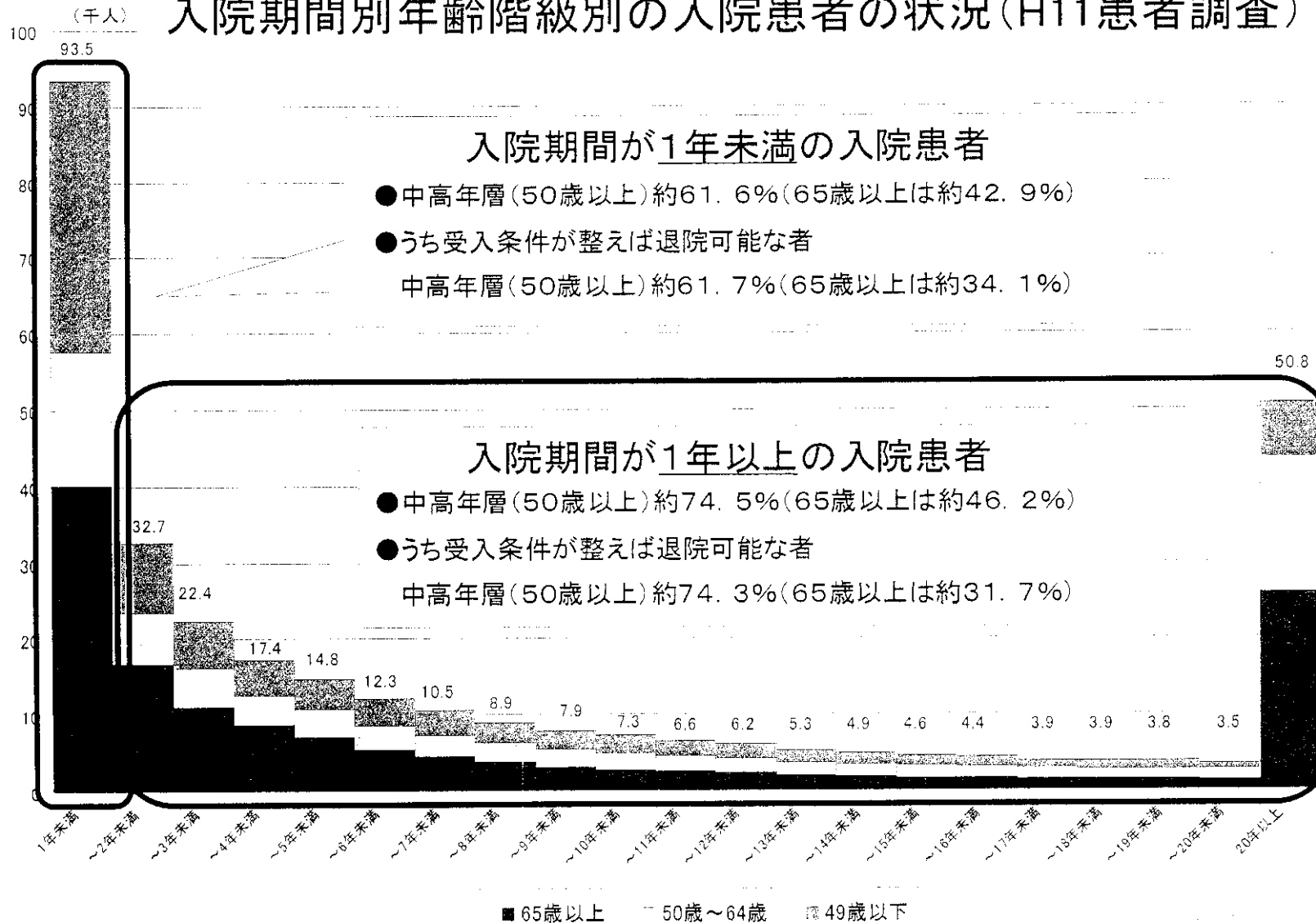


4 長期入院の高齢者のニーズに応じた  
支援環境の確保

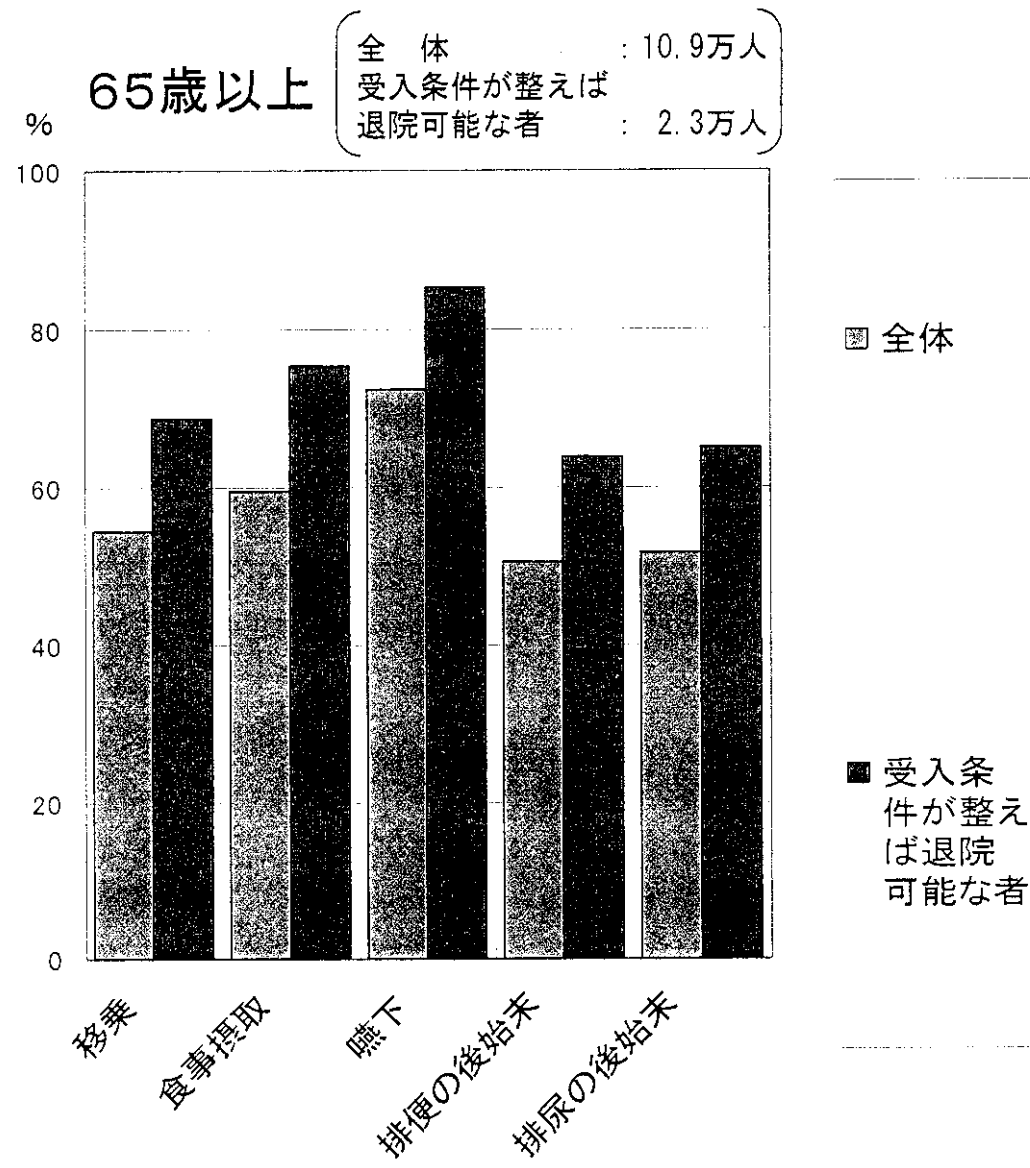
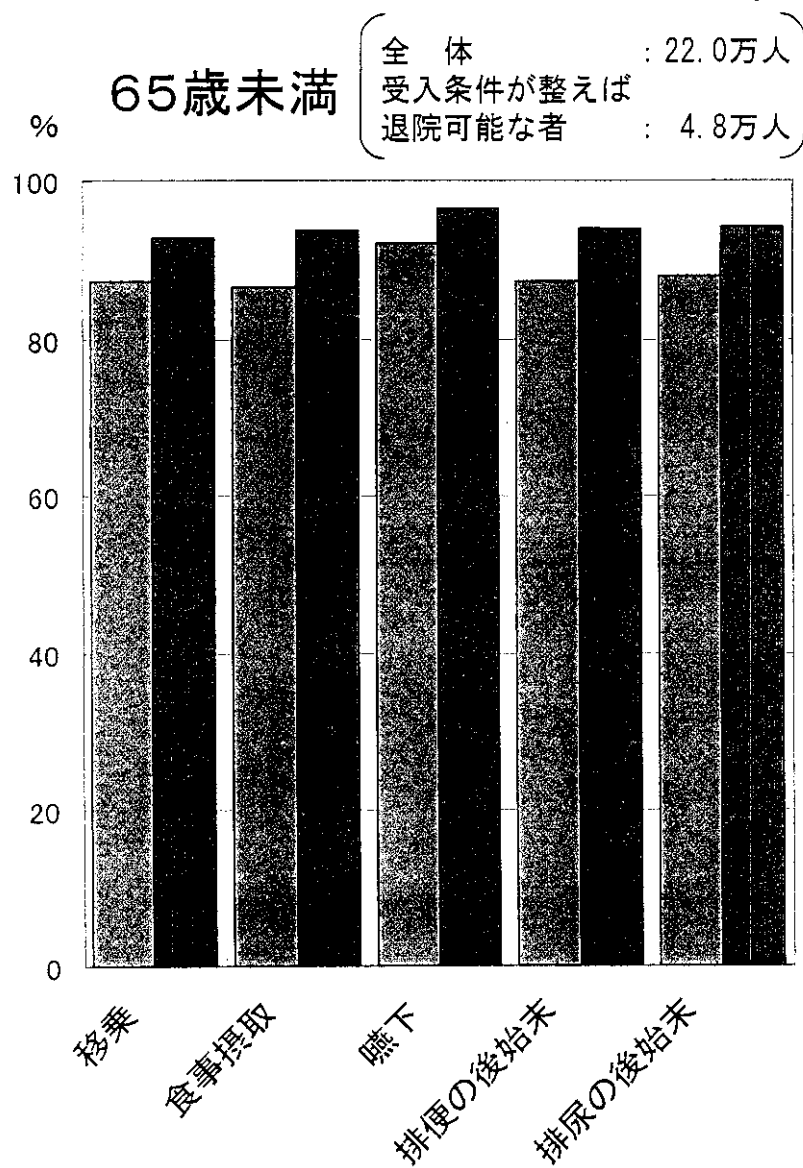
5 痴呆患者に対する処遇

# 入院期間別(1年ごと)の年齢分布

入院期間別年齢階級別の入院患者の状況(H11患者調査)

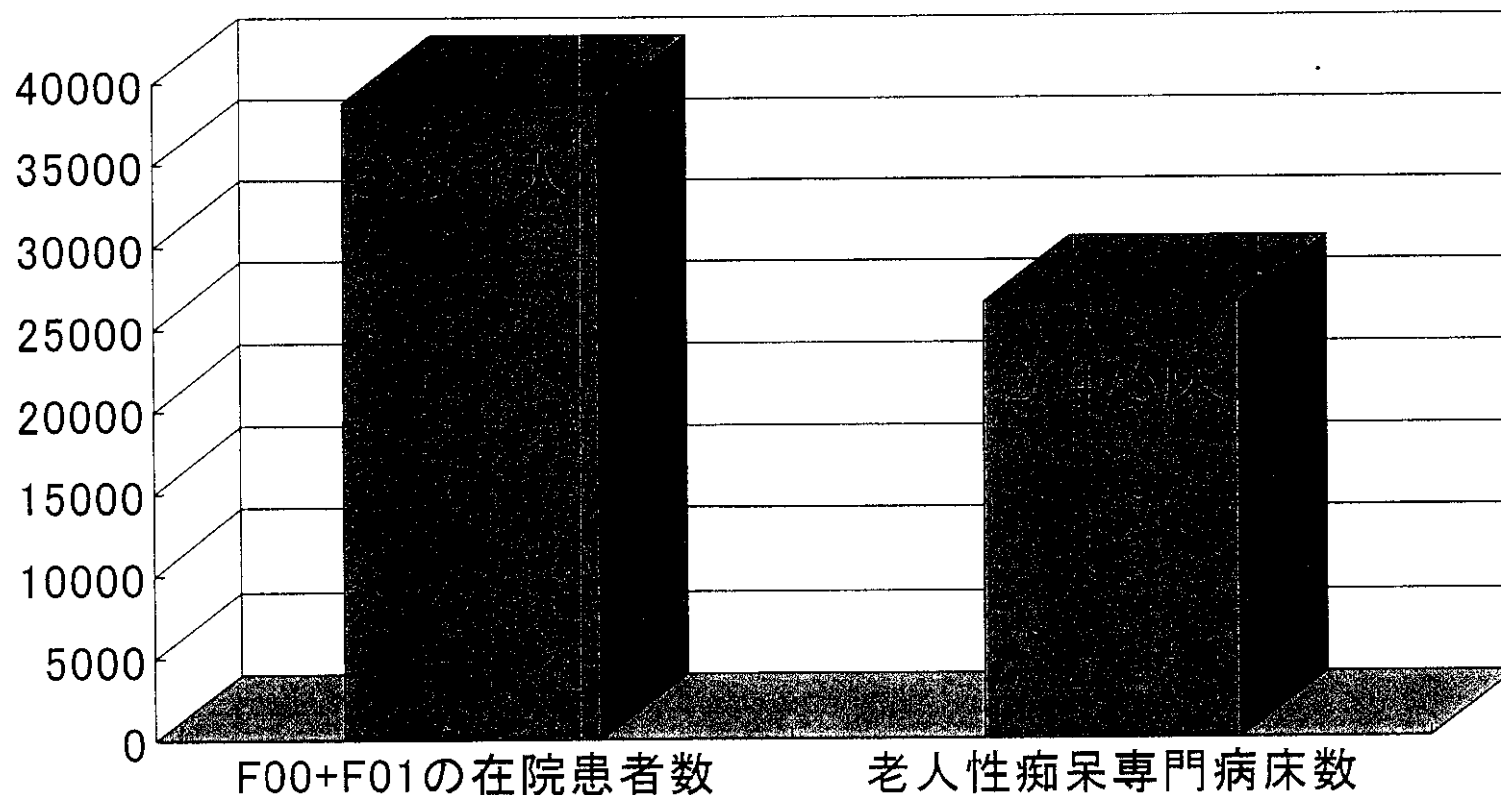


# 年齢階級別「受入条件が整えば退院可能な者」の日常生活自立の状況



資料:厚生労働省患者調査(平成11年)

# 老人性痴呆の在院患者数と 病床数

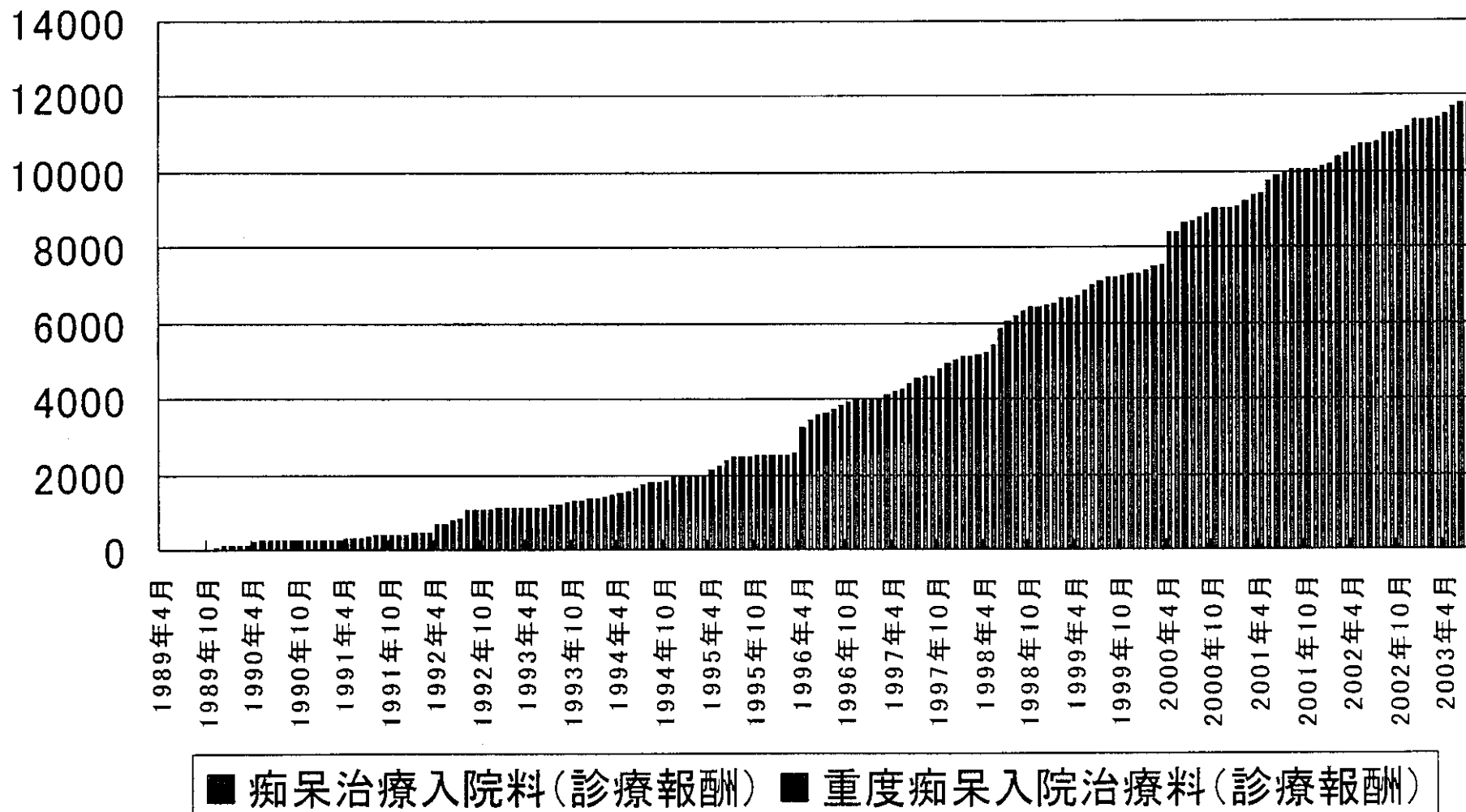


F00:アルツハイマー病 F01:血管性痴呆

資料:精神保健福祉課調 平成14年

# 老人性痴呆疾患治療病棟数

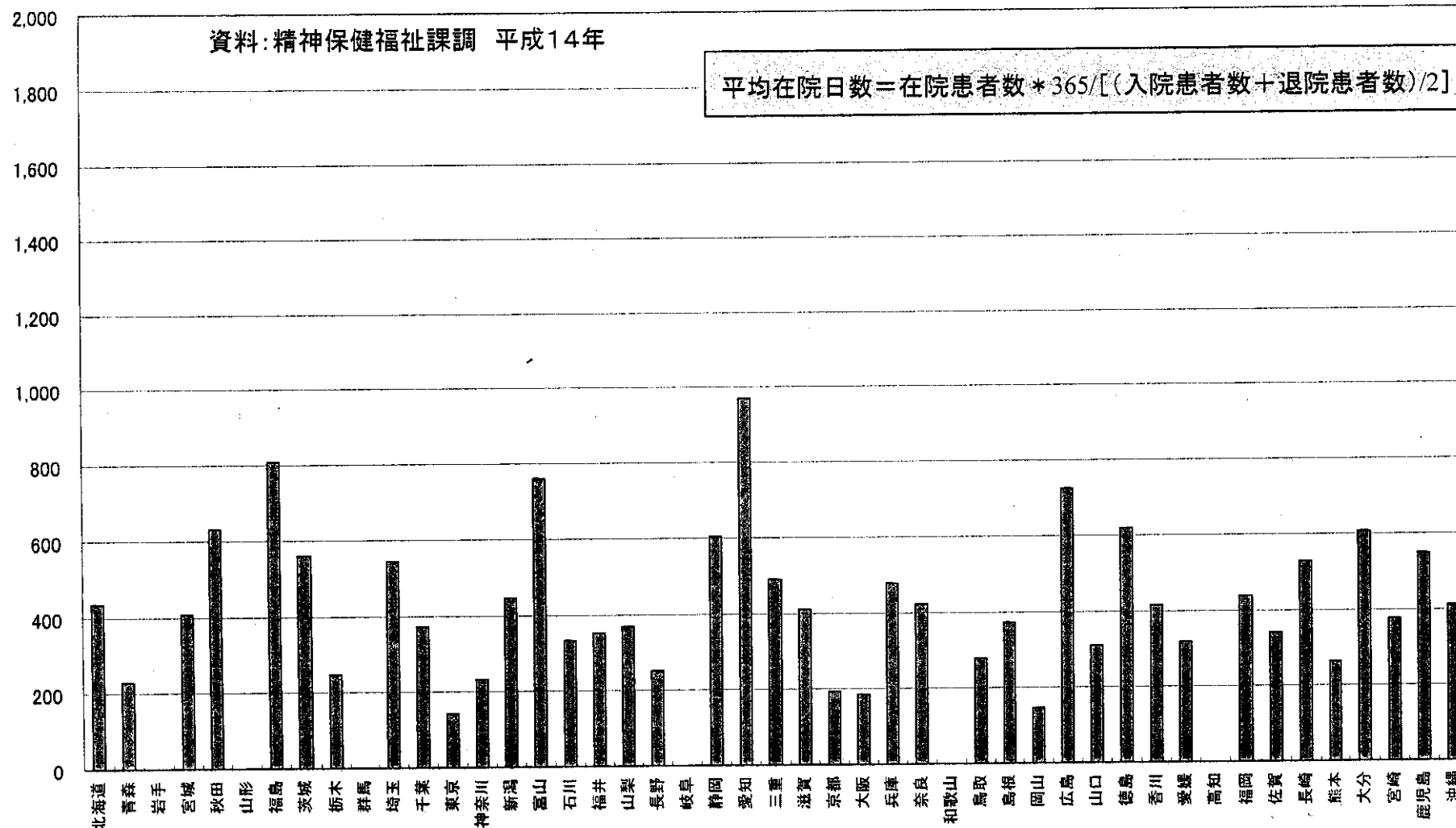
(N. of Beds)



伊藤弘人、濱野強、他. 平成15年度厚生労働科学研究(中間報告)

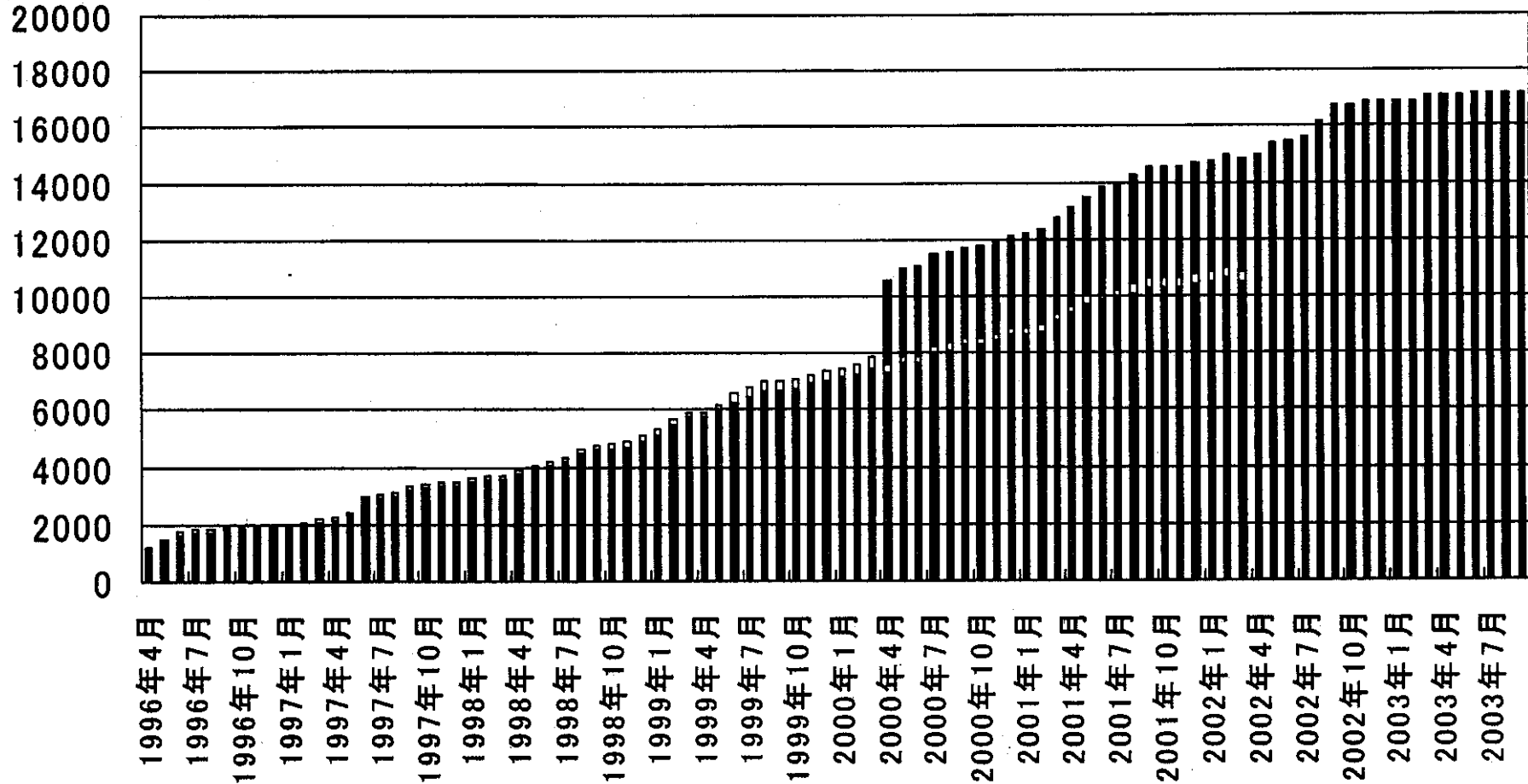
# 老人性痴呆疾患治療病棟における都道府県別平均在院日数

(日)



# 老人性痴呆疾患療養病棟数

(N. of Beds)

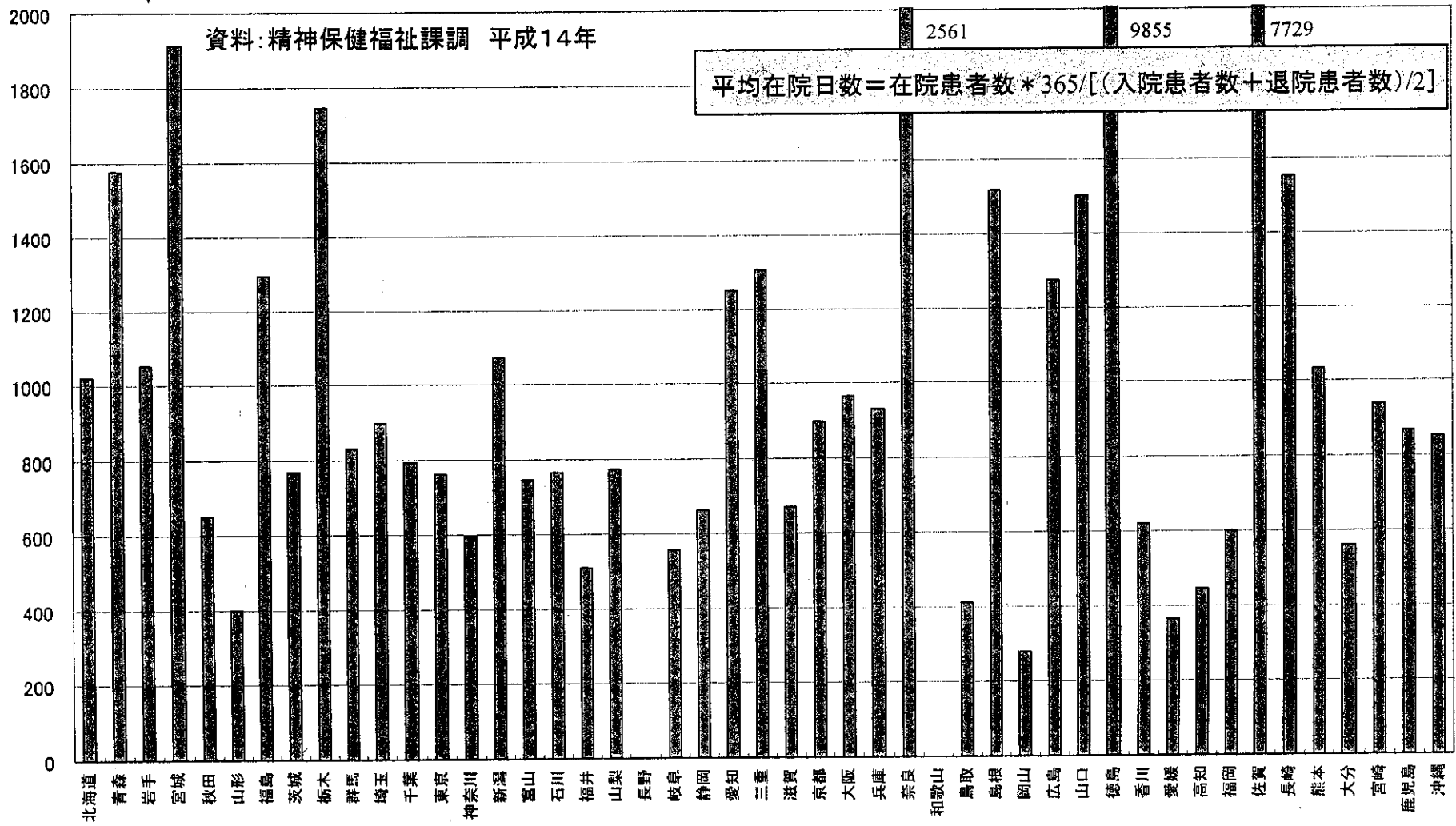


入院料1(診療報酬)
  入院料2(診療報酬)
  介護保険

伊藤弘人、濱野強、他. 平成15年度厚生労働科学研究(中間報告)

# 老人性痴呆疾患療養病棟における都道府県別平均在院日数

(日)





# 介護保険施設との比較

	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	老人性痴呆疾患治療病棟	老人性痴呆疾患療養病棟
保険	介護	介護	介護	医療	医療／介護
対象者	常時介護が必要で在宅生活が困難な要介護者	病状安定期にあり入院治療をする必要はないがリハビリテーションや看護・介護を必要とする要介護者	病状が安定している長期療養患者であって、カテーテルを装着している等の常時医学的管理が必要な要介護者	精神症状および行動異常が特に著しい重度の痴呆患者	精神症状および行動異常が著しい痴呆患者
基準	居室10.65㎡/床以上 廊下幅1.8m以上 (両側居室2.7m)	療養室8㎡/床以上 廊下幅1.8m以上 (両側居室2.7m)	病室6.4㎡/床以上 廊下幅1.8m以上 (両側居室2.7m)	病室6.4㎡/床以上 廊下幅1.8m以上 (両側居室2.7m)	病室6.4㎡/床以上 廊下幅1.8m以上 (両側居室2.7m)
100人あたり人員基準	医師(非常勤可)1人 看護師3人 介護職員31人 介護支援専門員1人	医師(常勤)1人 看護師9人 介護職員25人 理学療法士1人または作業療法士1人 介護支援専門員1人	医師3人 看護師17人 介護職員17人 介護支援専門員1人	医師3人 看護職員17人 看護補助者20人	医師3人 看護職員17人 看護補助者17人